

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	34° 49' 14"		
				経度	135° 46' 56"		
古森藤木線橋 (フリガナ) フルモリフジキセンバシ		市道古森藤木線	京都府京田辺市東東神屋				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
京田辺市	2016.12.19	幹線排水路	有	一般道	その他	なし	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

		点検者	サンスイコンサルタント(株)		点検責任者	大塚 正樹
点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	II	剥離・鉄筋露出	写真1 主桁01起点右側		
	横桁					
	床版					
下部構造	I					
支承部	I					
その他	II	舗装のひび割れ、地覆鉄筋露出	写真2,3 中央付近、左側			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	主桁下面に剥離・鉄筋露出が見られる。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1989年	15m	5.0m

← 起点

終点 →

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>上部構造(主桁)【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>その他(路面)【判定区分: Ⅱ】</p>
<p>写真-1</p>  <p>主桁01 起点右側 剥離・鉄筋露出 600×150×30</p>	<p>写真-2</p>  <p>路面 中央付近 舗装のひび割れ</p>
<p>その他(地覆)【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>【判定区分: 】</p>
<p>写真-3</p>  <p>地覆 左側 剥離・鉄筋露出 30×70、30×60他</p>	